

令和五年度

一般選抜問題 一期 【二日目】

国語総合

【試験時間 午前十時～午前十一時】

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 二、国語総合の問題は一ページから十四ページまであります。
- 三、解答用紙は一枚です。
- 四、試験中に問題冊子および解答用紙の印刷不鮮明、落丁（ページの脱落）・乱丁（ページの乱れ）に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 五、問題冊子の余白等は自由に利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 六、試験時間は六十分です。
- 七、受験番号と氏名は、解答用紙の指定された欄に記入しなさい。
- 八、解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入しなさい。
- 九、必要以外のことを解答用紙に書いてはいけません。
- 十、問題冊子は持ち帰りなさい。

— 次の文章は、阿久津隆『本の読める場所を求めて』の一部分である（ただし、少し書き換えた）。読んで後の設問に答えなさい。

（五十点）

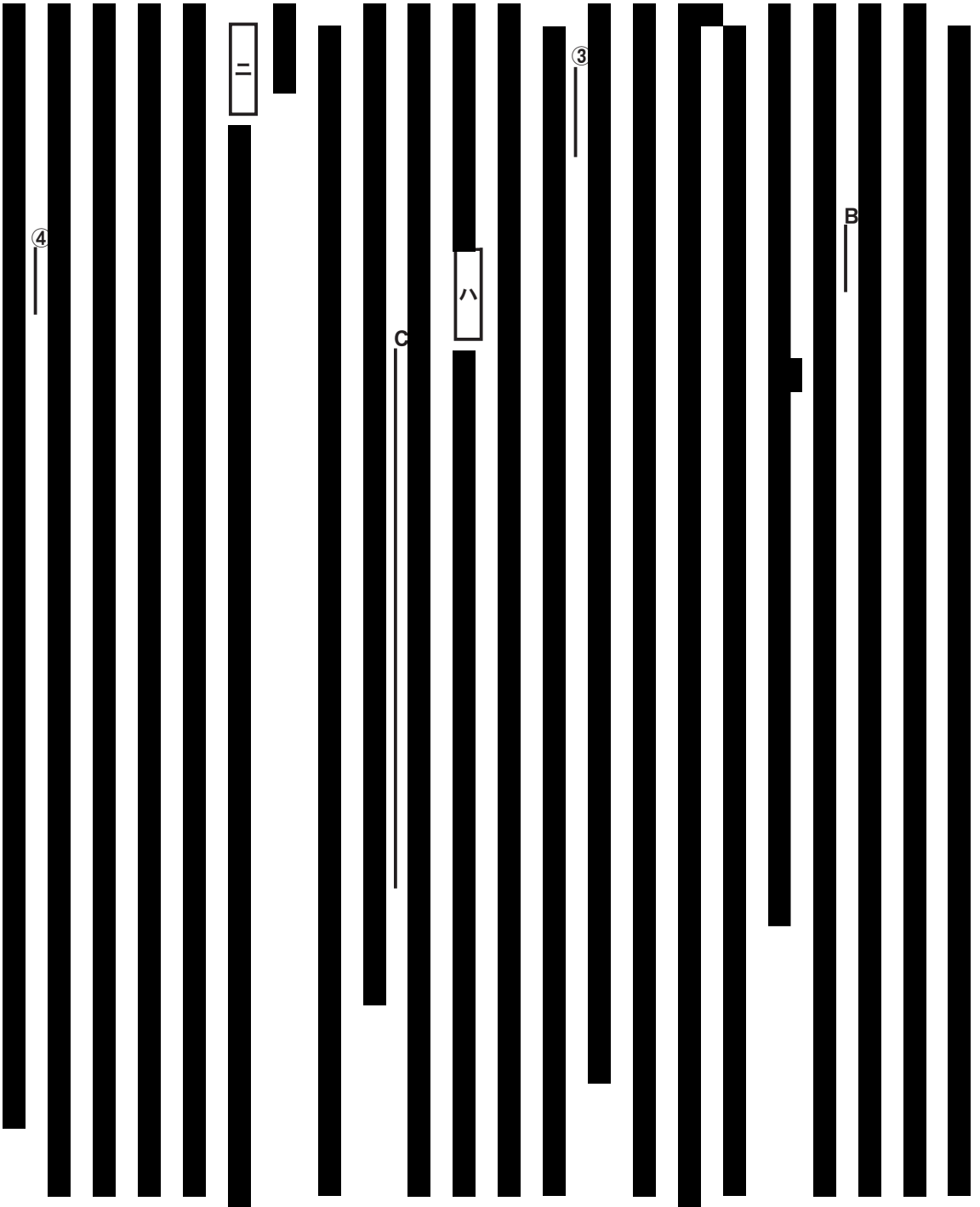
②

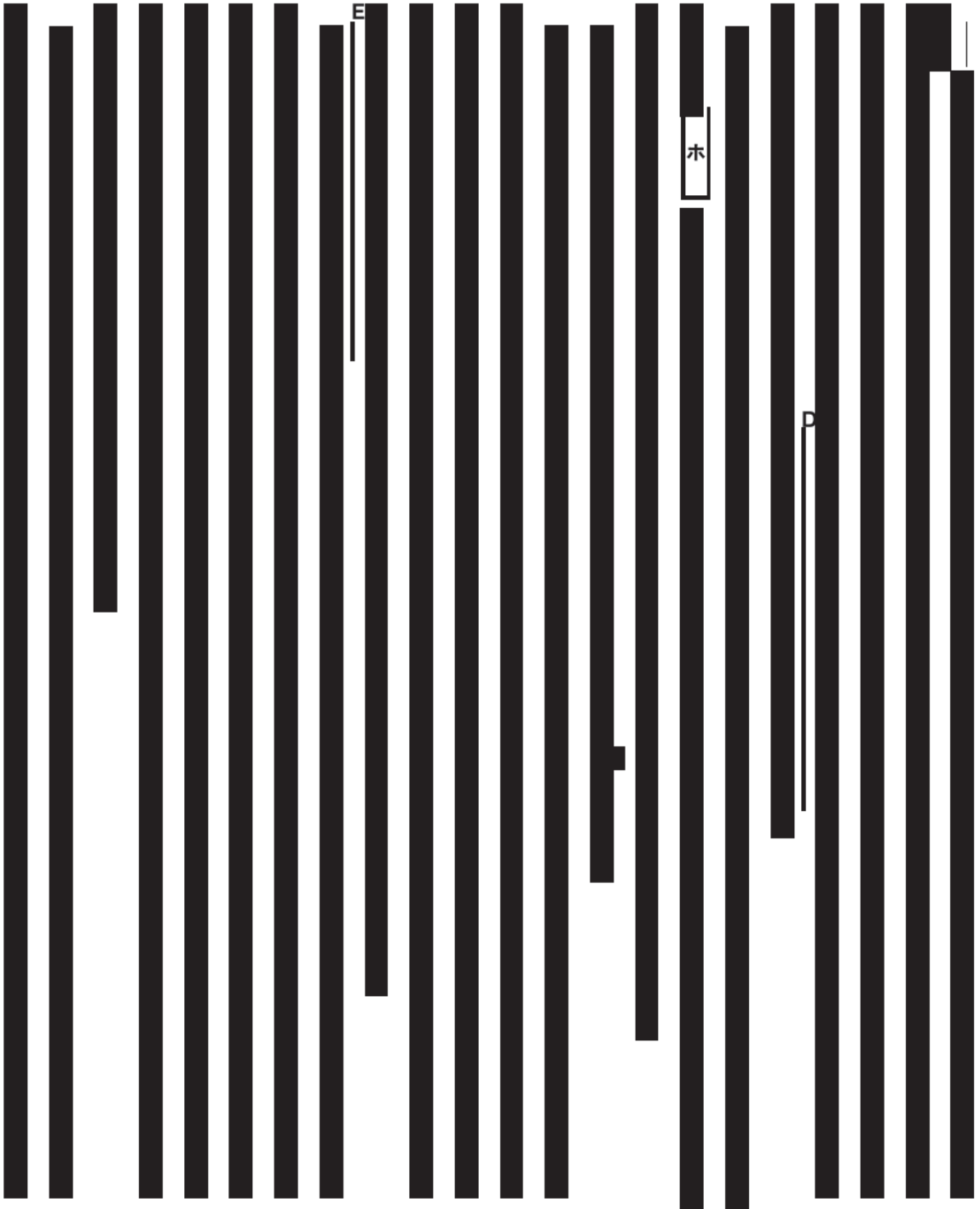
□

①

A

イ





[Redacted text block]

(阿久津隆『本の読める場所を求めて』より)

[Redacted text block]

[REDACTED]

[REDACTED]

問一 傍線部①～⑤について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで書きなさい。

問二 空欄 **イ** ～ **ホ** にあてはまる語句を次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい（ただし、使用は一度のみ）。

- a たとえば b もし c だから d しかし e とにかく

問三 傍線部 **A** 「」について、本文の内容に基づいて次のようにまとめた。空欄 **①** ～ **⑤** に入る言葉を次から選んで記号を書きなさい（ただし、使用は一度のみ）。また、空欄 **I** と **II** には、本文からあてはまる言葉を抜き出して書きなさい。

- a 音 b 吹き溜まり c 静けさ d 勉強 e 居眠り

図書館はどんな人でも **I** で入れる **①** がある場所だが、行き場のない人の集まる **②** という印象もある。中には **③** を目的にしている人もいるが、**④** という明確な目的を持ってきている人も多い。その人たちは強烈な **⑤** を出すことがあり、図書館では **II** を十分に楽しむことは難しい。

問四 傍線部 **B** 「」とあるが、これは具体的に何を指すか。本文中の言葉を用いて四十五字以内で説明しなさい（句読点も一字に数える）。

問五 傍線部 **C** 「」とあるが、これは具体的にどういうことか。それを示している箇所を本文中から四十九字で抜き出し、その最初の五字を記しなさい（句読点も一字に数える）。

問六 傍線部 **D** 「」とあるが、なぜそのような気持ちになるのか。本文中の言葉を用いて百十五字以内で説明しなさい（句読点も一字に数える）。

問七 傍線部 E 「とあるが、これに関連して、本文の内容と一致しないものはどれ

か。次の中から二つ選び記号で答えなさい。

- a カフェにコンビニで買った商品を持ち込んだり、席を複数占領したりしている人は、店に対して失礼である。
- b 周囲にいる人に対して敬意が欠如している人とは、カフェで自分の読書を満喫している人のことである。
- c カフェで居眠りをしたり、パソコンを乱暴に扱ったりしている人たちは、自分の時間を大切にしていない。
- d 店や周囲や自分自身に敬意を払わない人々が、カフェという空間の雰囲気が悪化させていく。
- e カフェの飲食への支払いを済ませた人は、勉強や仕事や居眠りや読書を自由にしてもかまわない。

問八 傍線部 F 「とあるが、これは具体的にどのようなことか。

本文中の言葉を用いて百五十文字以内で説明しなさい（句読点も一字に数える）。

二

次の文章は、古田徹也『いつもの言葉を哲学する』の一部分である（ただし、少し書き換えた）。読んで後の設問に答えなさい。

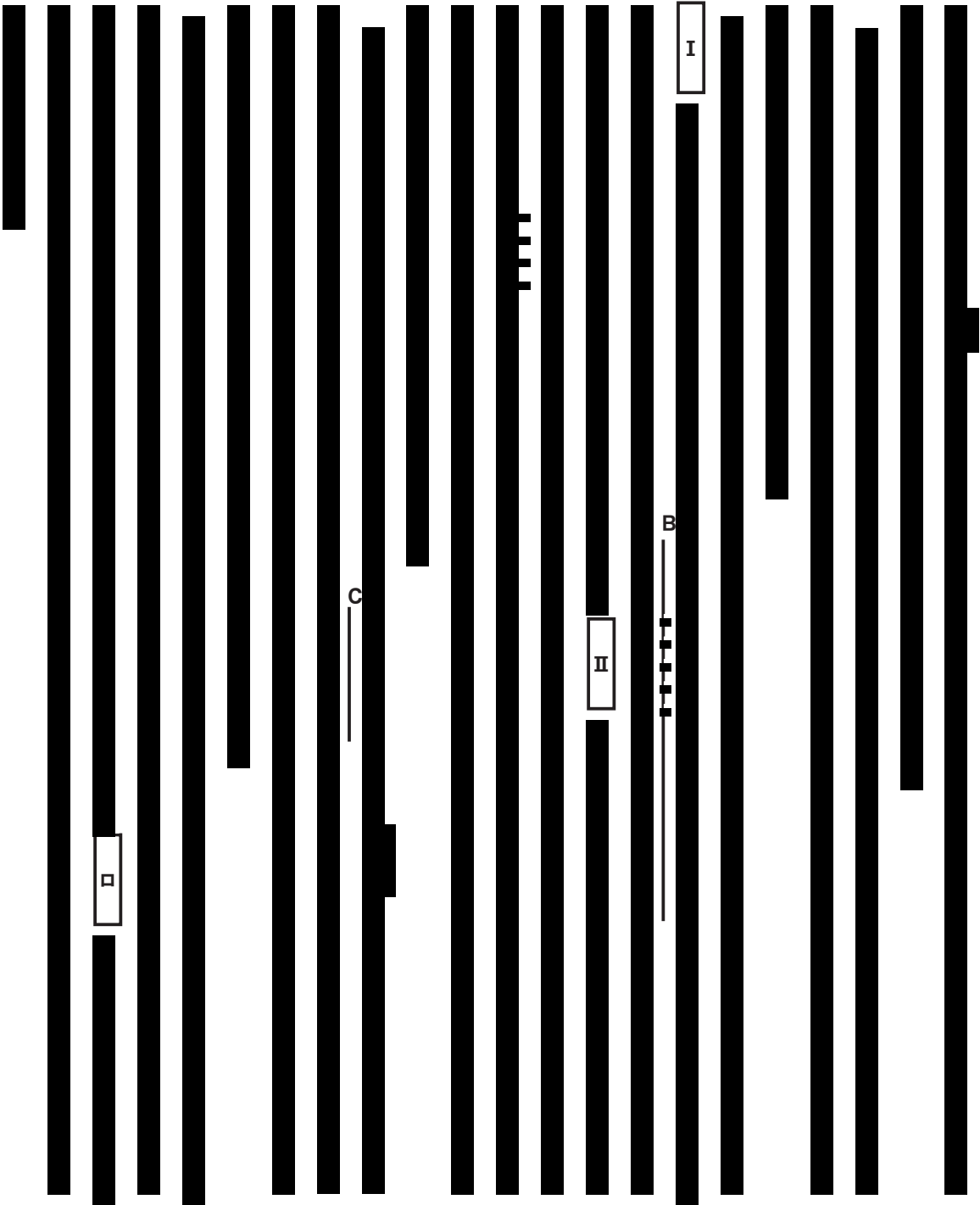
（五十点）

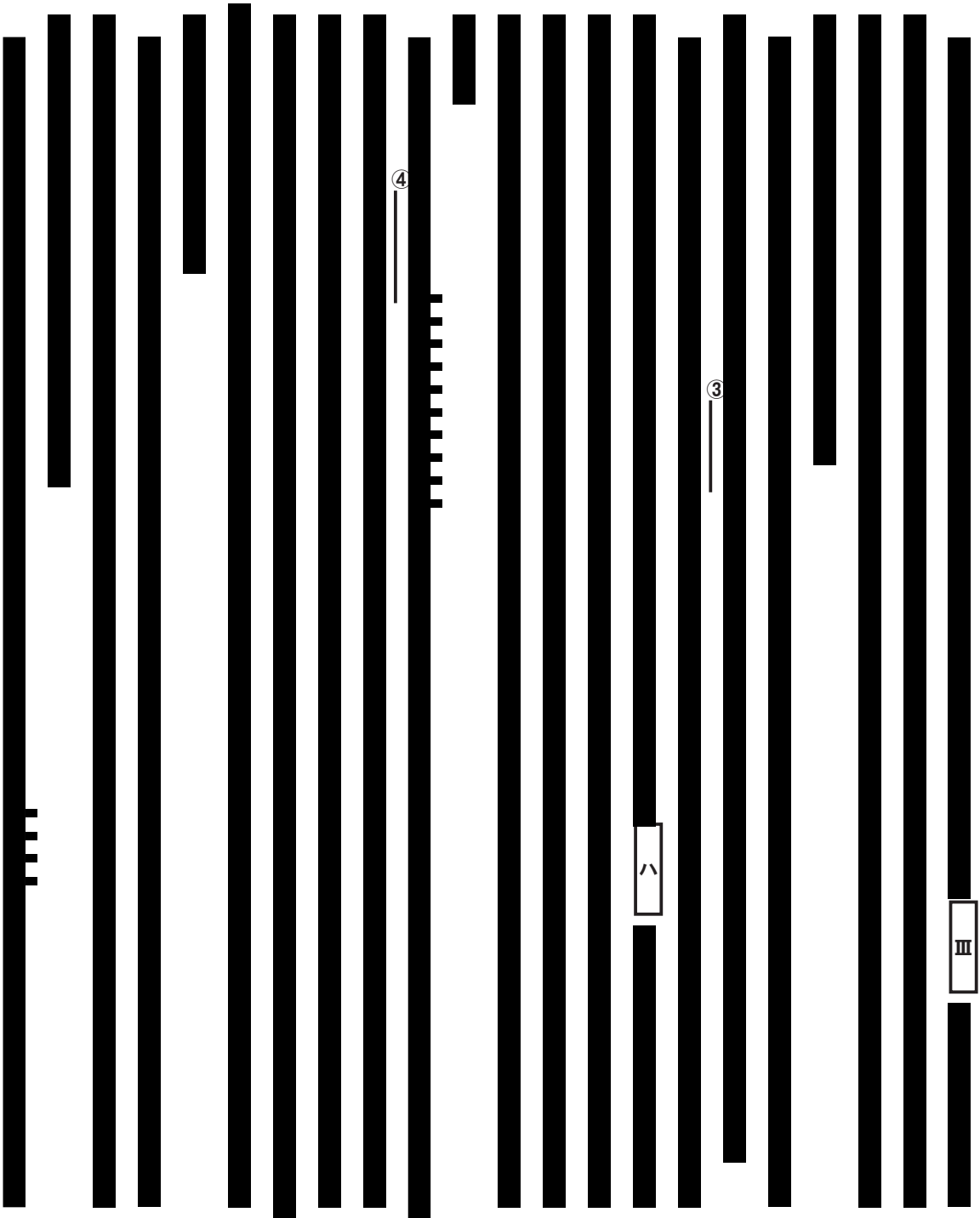
イ

②

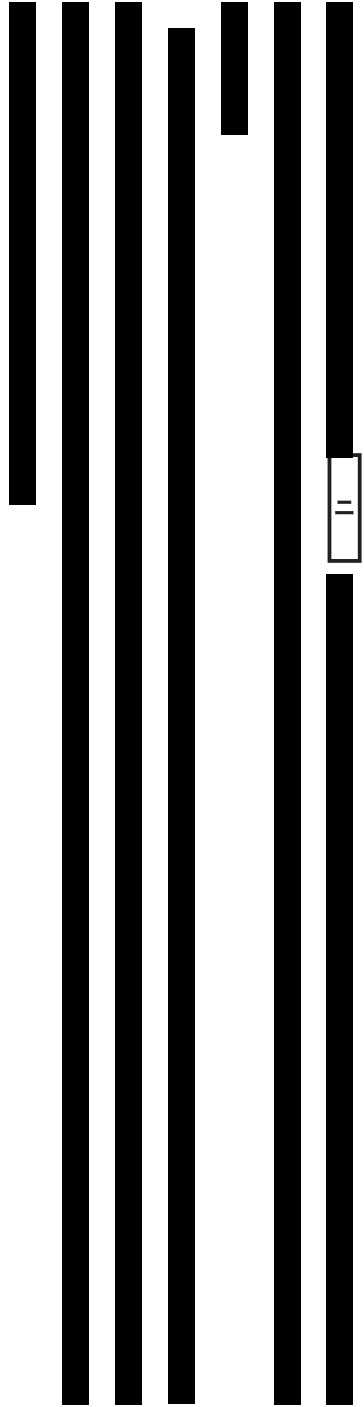
A

①





(古田徹也『いつもの言葉を哲学する』より)



問一 傍線部①～④について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで書きなさい。

問二 空欄 **イ** ～ **ニ** にあてはまる語句を次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい（ただし使用は一度のみ）。

- a たとえば b まして c それゆえ d あるいは

問三 空欄 **I** ～ **III** にあてはまる四字熟語を次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい（ただし使用は一度のみ）。

- a 四面楚歌 b 罵詈雑言 c 試行錯誤 d 誹謗中傷 e 言語道断

問四 傍線部 **A** とあるが、なぜそのようなようになったのか。本文中の言葉を用いて八十五字以内で説明しなさい（句読点も一字に数える）。

問五 傍線部 **B** とあるが、どのような意味か。その説明として、次の文の空欄に適する語句を、本文中からそれぞれ十五字以内で抜き出して答えなさい（句読点も一字に数える）。

ネット上に殺到する言葉で **①** と **②** の両方が「炎上」と呼ばれている。

問六 傍線部 **C** とあるが、どの言葉が、どのように便利なのか。本文中の言葉を用いて六十字以内で説明しなさい（句読点も一字に数える）。

問七 次の文章は、本文を読んで「正しい」「批判」の在り方について」と題する「レポート課題」の提出を求められたある生徒の「下書き」の一部である。空欄に適する表現を、本文から抜き出して書きなさい。

タイトル 正しい「批判」の在り方について

序論

「批判」本来の意味 【「 ① 」
「 ② 」
「 ③ 』】
日本の「批判」の現状 【常に否定的なニュアンスを帯びている】

本論

そのようになっている背景 【日本社会は同調圧力が強く、互いにうなずき合う言葉か
容赦のない厳しい言葉となっている】
【中間がなくなり、敵意をもったものとしてのみ機能して
いる】
「批判」の悪い例 【「炎上している」とか「賛否の声が上がっている」という
言葉でまとめてしまう】
「批判」はどのように行うべきか 【相手とともに問題を整理し、吟味し、理解を深め合うこと
ができるように行うべき】
つまり【 ④ 】ことが重要

結論

そのためには 【 ⑤ 】